



[週報]

Weekly Report

国際ロータリー第 2720 地区 **熊本南ロータリークラブ**
Rotary International District 2720 Kumamoto South Rotary Club

RI テーマ
人類に奉仕するロータリー

2016 - 2017 年度 国際ロータリー会長 ジョン・ジャーム

例会日 / 毎週月曜日 12 : 30 ~ 13 : 30

例会場 / 〒860-8536 熊本市中央区上通町 2-1 ホテル日航熊本内

創立日 / 昭和 33 年 9 月 1 日 (承認 昭和 33 年 11 月 24 日)

会長 / 漆島典和 幹事 / 坂本研一 クラブ広報委員長 / 井上雅文

www.kumamoto-southrc.org

第13回例会記録(通算第 2703 回)

平成 28(2016)年10月31日

斉唱 国家 君が代

ロータリーソング「われらの生業」

来訪者紹介

土山元治様 (㈱大林組 熊本城工事事務所所長)

松本秀藏様・大石 勉様 (玉名 RC)

本田正美様・松尾 学様 (玉名 RC)

田尻忠志様 (熊本菊南 RC)

会長報告 (漆島典和君)

皆さま、こんにちは。本日は玉名 RC より 4 名の方がお見えになりました。先日 10/22 に創立 50 周年記念式典を開催され、大盛況でございました。本当におめでとうございます。

さて、本日はガバナー月信 Vol. 4 より一部ご紹介します。ロータリークラブは 1905 年、アメリカ・シカゴにてポールハリスという弁護士を中心に創立され、現在、世界に約 35,000 のクラブがあり、1,230,000 人の会員が在籍しています。目的は「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある」とありますが、端的に言うとも世界で良いことをしよう。また、そのような考え方のできる人材を育てようということです。そして、その目的の行動指針として第 2 項に次のことが記されています。「職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべ



本日の卓話 土山元治様「熊本城飯田丸五階櫓の震災緊急対策工事について」より

今日の例会	今月・来月の行事
1.今日の歌	11/16 第 1 回職場訪問
2.来訪者紹介	@日本銀行・SMBC 日興証券
3.会長・幹事報告	11/23 熊本りんどう RC 創立 10 周年記念式典@ホテルキャッスル
4.外部卓話 野田正広様 (熊本地方卸売市場 代表取締役)	11/25 米山奨学会 カウンセラー報告会・意見交換会及び懇親会 @メルパルク熊本
	12/5 年次総会・年忘れ家族会

て価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。これは、職業を通じて社会に貢献することを意味し、他の奉仕団体とは異なったロータリー独自の職業奉仕理念です。

ガバナー月信 Vol. 4 は全会員に配布済みです。ご一読ください。

例会変更のお知らせ

○西 RC～親睦会のため日程場所変更

[変更前] 11月8日(火) 12:30～

[変更後] 11月6日(日) 8:00～

[場 所] 熊本県立総合運動公園

○05福祉 RC～職場訪問のため時間場所変更

[変更前] 11月8日(火) 12:30～

[変更後] 11月8日(火) 11:00～

[場 所] 日本赤十字熊本病院

○水前寺公園 RC～親睦会のため日程場所変更

[変更前] 11月9日(水)12:30～

[変更後] 11月13日(日)7:30～

[場 所] 水前寺江津湖公園

○北 RC～合同例会のため日程場所変更

[変更前] 11月10日(木)12:30～

[変更後] 11月7日(月)18:30～

○05福祉 RC～りんどう RC 創立10周年記念式典に変更

[変更前] 11月22日(火)12:30～

[変更後] 11月23日(祝)16:00～

[場 所] ホテルキャッスル

○菊南 RC～祝日のため休会

[日 程] 11月23日(祝)12:30～

○りんどう RC～創立10周年記念式典に変更

[変更前] 11月24日(木)19:00～

[変更後] 11月23日(祝)16:00～

[場 所] ホテルキャッスル

○05福祉 RC～定款に基づき休会

[日 程] 11月29日(火)12:30～

○菊南 RC～定款に基づき休会

[日 程] 11月30日(木)12:30～

幹事報告(坂本研一君)

1.玉名 RC 会長 鶴田倫明様より「創立50周年記念式典」登録と出席のお礼が届いております。

出席報告(園田修司君)			
会員数	出席数	出席率	前々回 修正出席率
62名	39名	67.24%	100.00%
出席規定適用免除者 4名		欠席記録免除者 2名	
名誉会員 0名(会員数には含まれません)			

玉名 RC 挨拶(松本秀藏様)



皆さま、こんにちは。このたびは10/22(土)開催されました当クラブ「創立50周年記念式典」に際し、全員登録をいただき誠にありがとうございました。お陰さまをもちまして無事終了いたしました。熊本南 RC 様には大変お世話になりました。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

委員会報告

●青少年奉仕委員会(丸山浩之君)



皆さま、こんにちは。ご案内しておりますとおり、11/3(祝)熊本南 RC 杯「第4回熊本県水球競技大会」を熊本済々黌高等学校様のご高配により無事開催されることとなりました。尚、当日は屋外プールにて行われ、雨天決行です。室内履き等の準備をしてご参加ください。どうぞよろしくお願いいたします。

●スマイルボックス(西川尚希君)

○松本秀藏様・大石 勉様・本田正美様・松尾 学様
(玉名 RC) V

先日の創立50周年記念式典は大変お世話になりました。熊本南 RC 様のロータリーの友情のおかげをもちまして無事滞りなく終わることができました。全員登録をいただいたことに無限の感謝を申し上げ、お礼いたします。

○漆島典和君・坂本研一君・今村浩昭君・北口 誠君

本日の来訪者、玉名RC 松本様、大石様、本田様、松尾様、熊本菊南RC 田尻様を歓迎いたします。先日の玉名RC 創立50周年記念式典は大盛況で、私たちも大変勉強になりました。また、本日の卓話者 株式会社大林組の土山様を歓迎します。楽しみで昨夜は眠れませんでした。ご来訪の皆さま例会をお楽しみください。

○井上雄一朗君 X

熊本地震で大規模半壊した当社本社ビルの解体も終わり、先日代継宮の漆島典和禰宜に起工式と祈願祭を執り行っていただきました。漆島さんも多分最低一週間は身を清めていただいたのでしょうか。実に精悍な顔つきで式を厳粛に執り行っていただきました。発注者挨拶にて「夜、東バイパスを通ると、この辺りはすべて被災・解体されており、真っ暗でとても国道沿いとは思えない現状です。次の本社ビルは、熊本県・熊本市と大きいことはありませんが、最低でもこの東区の復興のシンボルとなり、東区の方々に演出より癒しの一環を担う思いで設計しております。当社側も施工関係の皆さまも、ただモノを作るのではなく、復興のシンボルを後世に残すという気概を持って施工をお願いいたします」と挨拶させていただきました。どこまで復興への思いを建物に体现できるかわかりませんが、半年経ってやっとここまでたどり着けたことを報告させていただきます。ありがとうございました。

○杉光定則君

本日の卓話者 土山元治様のご来訪をお慶び申し上げます。また、昨日（10/30）水前寺地区での水まち水前寺にぎわい祭りも無事開催することができましたので、お礼を兼ねてスマイルいたします。

○寿崎 肇君

先日、杉谷PGの葬儀に塚本先生の車に往復乗せていただきました。私一人でしたら場所が分からなかったと思います。本当にありがとうございました。

○水野東洋君

今日は所用のため早退します。お詫びのスマイルです。

●外部卓話（杉光定則君）

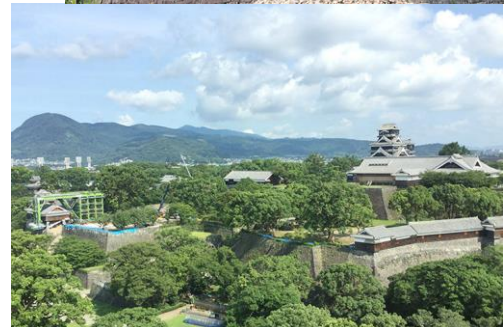
「熊本城飯田丸五階櫓の震災緊急対策工事について」

土山元治様（榊大林組 熊本城工事事務所 所長）



本日は熊本城の緊急対策工事の紹介を、ということでお招きいただいておりますが、工事の内容については当社のホームページから「プロジェクト最前線」というタグを選択していただくと詳しい内容が掲載されております。後でこちらもご覧いただければと思います。4月14日の前震、16日の本震から約2か月後の6月10日からこの工事がスタートしたわけですが、本震の直後から今にも折れてしまいそうな「隅石」と呼ばれる一筋の石垣が、飯田丸五階櫓を倒壊から守ったということで、熊本地震の象徴の一つとして注目されておりました。ただ、多くの人は石垣が残っていることが奇跡だということで「奇跡の一本石垣」とも呼ばれているようですが、建築屋からすれば点で支えられた状態でこれだけの形状を保っているということが構造的にも奇跡に近いのではないかと思います。今回の緊急対策工事は建物を倒壊の危機から救うことを目的とされておりましたが、工事後には石垣が「お役御免」で崩れても良いという感覚は全くありませんでした。隅石一か所で支えていた櫓の土台部分に数か所、支店（支える点）を増やすという考えで工事に臨みました。櫓を覆うような鉄骨架台のアイデアは、当時工事長だった入江という職員の発想です。5月23日に初めて現場を間近から観察したとき、当初の計画ではダメだと思い入江工事長に意見を聞こうとすると、彼はすでにスケッチを描き上げていたのです。「これならいける！」と即座に決断し、関係者にも強い意思表示を行うべく、工法説明用のアニメーションを自分でこしらえてわか

り易く説明。5月27日に熊本市との協議で、入江案を進めることを承諾いただきました。（可能ならパワーポイントを紹介）初めて現場を見てから4日後のことでした。あとは、部下と相談しながら業者を交えてアイデアを出し合い、設計と施工を同時進行させることになるわけです。ちなみに、「鉄の腕」が緑色を基調にしていることで一部のメディア担当者から「熊本城内の緑とマッチして景観にも配慮されておられるのですね。さすがです。」とお褒めの言葉をいただきましたが、正直に「あれは架台の業者のコーポレートカラーで、大林組が意図したわけではありません。全くの偶然です。」と正直にお伝えしております。さて、この夏の異常な天候は記憶に新しいことでしょう。6月下旬の大雨、それからは猛暑日の連続でした。観測記録ではこの夏の30度以上の真夏日は92日、内26日は35度越えの猛暑日だったそうです。離島を除く九州地方の観測地点のなかでもTOP10に入るくらい、熊本市は暑かったということらしいですが、そのような中、毎日汗でどろどろになりながらも頑張ってくれた延700人の職人に、ただただ感謝です。皆の思いを忘れることなく、今後の復旧復興の大いなる励みとなるように、大林組は邁進していく覚悟です。





世界ポリオデー」にあたる10月24日、アトランタにある米国疾病対策センター（CDC）本部でロータリーとCDC 主催による特別イベントが開かれ、世界の保健専門家と著名人が出席しました。『タイム』誌の総合監修者、ジェフリー・クルーガー氏が司会を務め、200人以上が出席したこのイベントは、ライブ動画で全世界に配信されました。今年8月、ポリオ症例ゼロを2年間維持したかと思われたナイジェリアで新たなポリオ発症が確認され、ロータリーをはじめポリオ撲滅に取り組んできた諸団体にとっては大きな打撃となりました。これらの症例は、最近までボコハラムの支配下にあったナイジェリア北部のボルノ州から報告されたものです。世界保健機関（WHO）は、この地域に5年間、ウイルスが存在していたと見ていますが、世界的にはポリオ症例数は確実に減っています。クルーガー氏との対談Q&Aで、CDC所長のトム・フリーデン氏がポリオ撲滅の進展について語りました。「現在、ポリオ症例数も、発症者がいる地域の数も、歴史上最も少なくなっている」とフリーデン氏。全世界の症例数は、今年わずか27件。昨年同時期での数は51件でした。ナイジェリアでの新たな症例を受け、ロータリーとパートナー団体は、ナイジェリア政府、チャド、カメルーン、中央アフリカ共和国と協力してさらに活動を強化。経口ワクチンと不活化ワクチンの両方を使って約100万人の子どもへの予防接種キャンペーンを緊急に実施しました。「新たな症例が確認されたのは、サーベイランス（監視活動）が継続して行われていることの証拠」とフリードマン氏は話します。「さらに症例が確認されたとしても、それは驚くことではありません。監視が行き届いていれば、それだけポリオ症例の発見につながるからです」アフガニスタンとパキスタンでは撲滅活動が引き続き成果を挙げています。アフガニスタンでは、2016年現時点までの症例数を昨年と比べると13件から8件に減少、パキスタンでも38件から15件に減少しています。フリーデン氏は、過去に予防接種が行き届いていなかった子どもたちにワクチンを投与するパキスタンでの画期的な取り組みにも触れました。これには、国境や州境、大都市への境界付近でのワクチン投与所の設置や、ワクチン投与者チームに携帯電話を提供してデータを迅速に保健センターに送信するロータリーの活動も含まれています。「ウイルスを囲って封じ込めていかなければな

らない」とフリーデン氏は加えます。パラリンピック選手であるポリオサバイバー、デニス・オグベさんもイベントに出席し、自身の生い立ちについて語りました。3歳のとき、ナイジェリアの自宅近くにあったクリニックでマラリアの治療を受けていたとき、ポリオに感染しました。2000年のシドニーと2012年のロンドンのパラリンピックに出場したオグベさんですが、自身が体験する最も難しいチャレンジは「世界からポリオをなくすこと」だと話しました。トーク番組「What's Trending」の司会者、シーラ・ラザーさんもイベントに参加し、世界中の人びとが投稿したソーシャルメディアの内容を紹介。さらに、世界中で3,000以上の「世界ポリオデー」イベントが行われていることも伝えました。パキスタンのコート・ディジの遺跡では、大きな「End Polio Now」のメッセージがイルミネーションで投影されました。作家・ジャーナリストであるマリン・マッケナさんと、同じくジャーナリスト・作家のジェナ・ブッシュ・ヘイガーさん（ブッシュ元大統領の次女）もビデオ出演しました。さらに今回、ロータリーがユニセフの支援を受けて制作したバーチャルリアリティー映像が初公開されました。インドとケニアの街中にいるような感覚が得られるこの映像は、ポリオサバイバーの体験をリアルに伝えています。ユニセフのポリオ撲滅担当ディレクター、レザ・ホサイニさんはこう話します。「これは、ポリオによって人生が大きく変わった人びと様子を伝える優れた技術です。ポリオ撲滅活動がどこでどのような人びとを救っているのかを、実際に見てもらうことが大切なのです」この日、フリーデン氏と国際ロータリーのジョン F. ジャーム会長は、ポリオ撲滅活動への多額の寄付を発表。さらに、カナダ政府が1000万ドルの寄付を約束し、元ニューヨーク市長で事業家・慈善家であるマイケル・ブルームバーグ氏も2500万ドルを寄付しました。ロータリーは、1979年にポリオ予防接種活動を開始して以来、ポリオ撲滅に16億ドル以上を寄付しています。イベントの最後に、ジャーム会長はこう語りました。「私たちはこの取り組みを30年以上前に始めました。以来ずっと、あきらめずに全力を注いできました。そして今、この活動を成し遂げる日が近づいています」

【例会予定】

- 11/14 調整中
- 11/21 調整中
- 11/28 外部卓話 調整中